



第88号 ふれあいの里運営会議
〒632-0001 天理市中之庄町470 TEL.0743-65-1771㈹

発行責任者：原 健二
編 集：ふれあいの里広報委員会

CONTENTS

- 1頁 ふれあい祭り 実行委員長挨拶
- 2頁 ふれあい祭り 参加者・司会者の感想
奈良東病院
- 3頁 天理市北部包括支援センター
- 4頁 「ふれあい広陵」「エバーライフ香芝」
秋の作品展告知

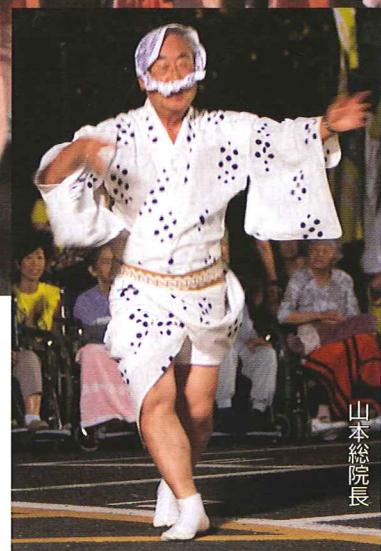
<http://www.fureai-net.com/>

第20回 ふれあい祭り



今年の夏は熱中症のニュースが連日テレビや新聞を賑わす猛烈な暑さの夏でした。実行委員会でも猛暑による祭りの中止も検討したほどでしたが、祭り当日は幸いにも曇り気味の天気になり、イベントもスムーズに進行して、第20回にふさわしい盛り上がりになったと嬉しく思っております。たくさんの方からお預かりした募金は、8月28日～29日に行われました第33回24時間テレビ「愛は地球を救う」に寄付させて頂きました。ありがとうございました。

(第20回ふれあい祭り 実行委員長 藤川 晃吉)



健和会理念

私達は、医療がサービス業であることを認識し、以下の目標を掲げる。

- 1・患者さん中心の医療・看護・介護
- 2・地域社会への貢献
- 3・研究心と向上心を持つ
- 4・和を尊ぶ

健和会基本方針

- 1・私たちふれあいの里的職員はいつも患者さんの意思を尊重し権利を遵守して、患者さん中心の医療、看護、介護を実践します。患者さんのA D L (日常生活動作) 改善とQ O L (生活の質) 向上のために、積極的にリハビリテーションに取り組みます。
- 2・私たちは他の医療機関や地域の人々と連携して地域社会に貢献し、社会に開かれた施設を目指します。
- 3・私たちは患者さんから学ぶという初心を忘れず、より良い医療、看護、介護を提供できるように常に研鑽し探求する精神を持ち続けます。
- 4・私たちは力を合わせてチーム医療の遂行のために努力します。

らっこ 「櫻井楽鼓の会」13人で参加 緊張して3曲、演奏後は笑顔

猛暑が続く中、恒例の「ふれあい祭り」がやって参りました。私達「櫻井楽鼓の会」も去年に引き続いで参加となります。今年は小学生2人を含めて、総勢13人で演奏することになりました。

会場入口からメイン会場へ続く、さまざまな模擬店からの熱気が伝わって、その時点ですっかりお祭り気分になりました。出演までの間、「楽鼓の会」控室では、メンバーは模擬店で買ってきた食べ物や飲み物で食事をし、和やかな雰囲気の中、リラックスした楽しいひと時を過ごすことができました。

いよいよ出番、舞台では緊張する中「祝い太鼓」「さくら」「楽鼓ばやし」の3曲を演奏しました。演奏後、

ホッとしたのかメンバーは全員笑顔に戻りました。

28日（土）放映の24時間テレビでも、奈良東病院の「ありがとう」の中でも少し

取り上げていただき、いい夏の思い出が出来ました。また、司会者から「来年も是非参加して下さい」、という温かい声援を頂き、大変嬉しく思っております。

最後になりましたが、「ふれあい祭り」を準備された関係者の皆様、暑い中ご苦労様でした。これからも練習に頑張りますので、来年もよろしくお願い致します。

（ふれあいの里 サプライサービス課 釜中 敏夫）



甚平に麦わら帽で司会モード 4人チームに「ふれあい仮面」も

今回で祭りの司会は2回目でしたが、とても楽しかったです。当日は天候に恵まれ、気温が高く、まさに絶好の祭り日和でした。

最初に、当日ともに司会をしたメンバーを紹介させていただきます。ならふくじゅ荘相談員の“ナイスガイ”福原さん、ケアハウス清寿苑の“3児のマザー”高野さん、病院医事課の“ヤングガール”道澤さんと、とても個性的なメンバーと一緒に司会をさせていただきました。祭り前日に、司会チームで打ち合わせをしたのですが、打ち合わせの時点では既に大盛り上がりでした。

ふれあい祭り当日、私物の甚平に着替え、麦わら帽子をかぶり、夏スタイルになると、気分はもう“司会モード”です。司会チームの面々と協力しながら、自分の頭の中で思いつくままに進行状況を言葉にしていきました。幸い時間通りに進行し、祭りは大盛り上がりで進んでいきました。

「お楽しみ抽選会」では「ふれあい仮面」なる者が助つ人として抽選会の進行をしてくれました。

ふれあい仮面のおかげで会場は盛り上がり無事に抽選会を終える事が出来ました。

「お祭り」というものは、これから未来を担う子ども達が主役である」という司会メンバーの認識のもと、今年は例年以上に、子ども達に楽しんでもらえるよう意識して司会をしたつもりです。会場に来ていた子ども達



の笑顔は日本の祭りの原風景のような気がします。

そして、祭り会場も暗くなり、踊りが始まる頃には祭り会場の雰囲気も最高潮になり、我々司会チームもラストスパートです。最後のふれあいの里職員による阿波踊りがはじまると司会チームも乱入し一緒に踊りました。

そんなこんなで今回のふれあい祭りも平穡無事に終える事ができました。来年も楽しい祭りにしていきたいと思っています。

最後になりましたが、司会チームメンバーの福原さん、高野さん、道澤さんにも大変迷惑をおかけしたかとは思いますが、お三方と一緒に司会が出来て大変楽しかったです。この場を借りてお礼を申し上げます。

来年も機会があればふれあい祭りに携わっていきたいと思います。ほんとうにありがとうございました。

（奈良東病院北館2F 上村 良太）

地域社会に貢献する 奈良東病院 療養環境にすぐれた 安心の医療

夕涼み会の目玉は花火！ 盆踊りやスイカ割り楽しむ

8月21日（土）に夕涼み会を行いました。夕食が終わってから、外に出てもらい、皆さん揃ったところでスイカ割りからスタートしました。普段から仲のいい患者

様2人が指名され、「せーの」と言う掛け声の後に大きく棒を振り下ろされました。残念ながら1回では割れなかったのですが、2回目で綺麗に二つに割れ大きな拍手が沸き起きました。

続いて、職員によるふれあい音頭＆炭坑節では浴衣を着た職員に対して、患者様から、「きれい」や「よく似



奈良東病院は財
日本医療機能評
価機構の認定を
受けました

合っている」という嬉しいお言葉を頂きました。踊り始めると曲に合わせて手拍子をしたり、手を振っている方もおられ、途中からは患者様も一緒に踊りに参加し、職員の踊りをまねして踊られていたり、自分の好きなように踊られたりしていました。

踊り終わったあとは、餃子、フライドポテト、かき氷、フルーチェ、ジュースに先ほど割って頂いたスイカの模擬店で、夕食を食べた後にも関わらず、次々と口に運んでおられました。

食べ終った後には、盆踊りの大目玉、花火を行いました。次々に火花を散らす花火に「おー」や「綺麗やね~」という歓声が起き、中には興奮し



立ち上がる人もおられ、外に出られなかつた人も、花火が見える位置に集まり、上から眺めておられました。終盤には職員から配られたチョコバナナを頬張りながら見ておられました。

普段よりも笑顔の多い患者様を見て、私達も自然と笑みがこぼれ、反応や歓声を聞いては、やってよかったと喜びがこみ上げてきました。4階病棟では毎日リハビリに励んでおられ、今回の盆踊りが、また明日からの力になれればと思います。そして、私達もそんな患者様によりよい看護・介護を提供していくこうと思っています。

(本館4F 横山 美里)

天理市北部地域包括支援センター 相談・支援・権利擁護など 3職種のスタッフが連携

平成18年4月の介護保険制度の改正により、地域包括支援センターが設置され早くも4年以上の月日が経ちました。ここで改めて「天理市北部地域包括支援センター」の役割を紹介させていただきます。

天理市北部地域包括支援センターは、天理市の委託事業です。

天理市内には4カ所地域包括支援センターが設置されていますが、そのうちの1カ所（天理市北部地域包括支援センター）は社会福祉法人大和清寿会が天理市から委託を受け、配置されている主任ケアマネジャー・保健師・社会福祉士の3職種が連携しながら、それぞれの専門分野で持てる力を活かし、チームとして担当地域（櫟本小学校区と山の辺小学校区）内で活動をしています。

地域包括支援センターは主に4つの仕事を受け持つて

いて、下記の表にある活動をしています。

地域包括支援センターに寄せられる相談は、認知症についてや高齢者への虐待、消費者被害など、対応に苦慮する内容のものがだんだん多くなってきています。問題が大きくなる前に相談してもらえるように民生委員さん宅を戸別訪問するなど、相談しやすい環境づくり、早期発見・早期対応できる環境づくりのための活動をしながら、実際に支援に当たっていただくケアマネジャーとの交流会や、ケアマネジャーとしての質向上の為の事例検討会を市と協力して開催し、各関係機関とのネットワークづくり活動もしています。

またそれ以外に地域住民の中でのネットワークづくりも考え、認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やそのご家族を温かい目で見守ってもらえる応援者がたくさんいるような、認知症にやさしい町になるように、認知症サポーター養成講座を開催しています。

11月11日(木)は介護の日ですが、その日に合わせ、天理市内4カ所の地域包括支援センター合同で「地域包括支援センターまつり」を開催します(詳細につきましては下記電話番号までお問い合わせください)、地域包括支援センターや介護予防の啓発のための活動もしています。

みなさまの近くに、介護や生活のことでお困りの高齢者がおられましたら、お住まいの地域にある地域包括支援センターへご相談ください。

「天理市北部地域包括支援センター」

住所：天理市石上町358

電話：0743-65-5520

(天理市北部地域包括支援センター 社会福祉士 小西 大志)



介護予防教室での認知症予防の啓発

事業区分	事業内容
介護予防ケアマネジメント事業	<ul style="list-style-type: none"> ●要支援1・2の方への介護予防マネジメント（介護予防ケアプランの作成など） ●すべての高齢者を対象とした介護予防の啓発（介護予防教室などの実施） ●要支援・要介護になるおそれの高い高齢者を対象とした介護予防マネジメント
総合相談・支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ●介護、介護以外の生活支援サービスなどの相談 ●高齢者の実態把握、地域の実態把握 ●早期発見・早期対応のための地域におけるネットワークの構築
権利擁護事業	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の虐待防止・早期発見のための啓発、相談支援活動 ●成年後見制度の活用支援 ●消費者被害防止のための啓発、相談支援活動
包括的・継続的ケアマネジメント事業	<ul style="list-style-type: none"> ●ケアマネジャーへの個別指導・相談活動、支援困難事例に関する助言・支援 ●地域のケアマネジャー相互のネットワークづくり ●包括的・継続的なケア体制の構築

グループホームふれあい広陵 開所式

8月17日（火）、広陵町三吉元斎音寺に「グループホーム ふれあい広陵」がオープンしました。

北には「馬見丘陵公園」と「巣山古墳」、西には「竹取公園」、その前に「讃岐神社」があり、その「讃岐神社」の東側、陽当たりと風通しの良い一角に「ふれあい広陵」があります。この「讃岐神社」は、かぐや姫とゆかりのある神社だそうです。他にも広陵町の



地名には「弁財天」「寺戸」「古寺」「百濟」そして「斎音寺」などなど。いたる所に古墳・神社・寺があります。川と池が多く見られ、通勤路は広陵に近づくとほとんどが川沿いで、いくつもの橋を渡ってグループホームに到着します。

8月23日（月）から入居を開始しました。23日に2人・25日に1人、そして9月1日に1人の方が入居して下さいました。女性3人・男性1人、大正生まれ（90歳代）1人・昭和生まれ（70～60歳代）3人です。「ここどこ？」から会話が始まりますが、自分の住んでいたところの話になり、お互いに確認しあった結果、道を挟んで左右の在所だったらしく、「近所やなあ！」「どこそこのお菓子屋さんが…」と会話が弾んでいました。これこそ地域密着型サービスの利点であると言えます。

住み始めて1～2週間の入居者さんが、年齢に関係なく、それぞれの得意分野を生かして、和気藹々と過ごしておられます。入居当初は、帰ることばかり考えておられ「いつ帰る？もう帰る！」をそれぞれに連発していた

秋の作品展10月29日から応募、お待ちしています！



今年で4回目となりました、「ふれあいの里 秋の作品展」を、平成22年10月29日（金）から11月12日

（金）の間で開催させていただくことになりました。

書道・絵画・ちぎり絵など、ふれあいの里利用者の皆様からのご応募心よりお待ちしております。

編集後記

気象庁によると、今夏（6月～8月）の平均気温は統計開始後の113年間で第1位の高い記録だったそうです。その暑いさなかに「ふれあい祭り」や「開所式」や「地鎮祭」など、いろいろなことがあり、個人的に今夏は記録と共に記憶に残る夏でした。

有料老人ホームエバーライフ香芝 地鎮祭

8月25日（水）、猛暑の中、香芝市高の建設予定地で「エバーライフ香芝（仮称）」の地鎮祭がとりおこなわれました。志都美神社宮司様から、工事中の安全と開設後の繁栄を祈願していただき、神事では、鉄村理事長らによる鋤取の儀、玉串奉奠があり、無事に地鎮祭を終えることができました。現在、2011年春の竣工、開設予定にむけて、順調に工事がすすめられています。「エバーライフ香芝（仮称）」は、先行オープンしている「エバーライフ御殿山」と同じ規模の介護付有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）になります。



＜施設概要＞

場 所：香芝市高211-1他

種 別：介護付有料老人ホーム

（特定施設入居者生活介護）

構造規模：鉄骨造4階建て 延床面積 2187.21m²

室 数：60室

（広報委員会）

方たちが、すっかり忘れてしまったのか、最近はその言葉が聞けなくなりました。

しっかりと広陵町に根ざし、お元気な町の人たちにもグループホームの良さを知っていただき、「広陵町に『ふれあい広陵』ができて良かった」と皆さんに喜んで頂けるよう努めてまいります。

（グループホーム ふれあい広陵 松本みち代）

なお、募集要項は以下のとおりです。

〈展示日〉 平成22年10月29日（金）～11月12日（金）

〈展示場所〉 奈良東病院内

〈応募資格〉 ふれあいの里施設群のいずれかで入院、通院、入所、通所されている方

〈応募規定〉 ①書道（半紙1枚以内）

②絵画・ちぎり絵（4ツ切1枚以内）

③自由作品（陶芸・編み物・人形等）

〈応募数〉 展示数に制限はありませんが、掲示場所に限りがあります。

応募多数の場合は選考とさせていただきますので、御了承下さい。

作品展についてのお問い合わせは、ふれあいの里 作品展実行委員 村島までお願いします。

TEL 0743-65-1771
(奈良東病院 総務課：内線332・333)

（広報委員長 森本真司）